

第6次八戸市総合計画（案）への意見と市の考え方について

1. 意見募集の実施期間 平成26年12月16日（火）～平成27年1月14日（水）

2. 寄せられた意見数 3件（提出者1名）

3. 意見内容と市の考え方

No.	意見内容（概要）	市の考え方
1	<p>第3章 まちづくりの基本方針</p> <p>1 総合的に取り組むべき6つの政策</p> <p>(3) 防災・防犯・環境</p> <ul style="list-style-type: none">・「空気や水などの生活環境を良好に保ち、快適で健康的な生活を送ることができるよう、また、豊かな自然環境を将来の世代に引き継いでいくため、地球温暖化対策の推進、ごみ処理の適正化及び環境保全の充実を図ります。」との記載があるが、中核市構想や八戸圏域定住自立圏共生ビジョン等、近隣町村との連携や、その中心となる八戸市が新たな産業集積を行うためには、イメージも大切であると思われる。・そのためにも、中核市となって更なる産業集積が進んだ浜松市の事例を参考に、近隣町村も対象にした八戸市地球温暖化防止センターの設置と、八戸広域圏地球温暖化対策協議会の設置について、今後検討いただきたい。・再生可能エネルギー並びに新エネルギーの振興（太陽光発電・バイオマス・水素活用）と、地域エネルギーマネジメントシステムを活用したエネルギーの合理的使用による具現的な低炭素社会の実現を目指すことにより、圏域内における環境・エネルギー産業の発展に寄与するものとする。・なお、関連するまちづくり戦略には、生業づくり戦略と自治体経営戦略がある。	<ul style="list-style-type: none">・御提案については、今後の計画策定にあたっての参考として参りたい。

No.	意見内容（概要）	市の考え方
2	<p>第3章 まちづくりの基本方針</p> <p>2 重点的に推進すべき5つのまちづくり戦略</p> <p>◇生業づくり戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「六次産業化による農水畜産物の高付加価値化」と記載があるが、水産・畜産のバイオマスの物質利用による高付加価値商品（鮭の頭から抽出されるプロテオブリカン等）は対象となるが、最も市場性があると思われるバイオマスエネルギーとしては積極的に活用しないようにも受け取れるので、「農水畜産物の六次産業化による新産業創造」という表現ではいかがか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・御提案については、今後の計画策定にあたっての参考として参りたい。
3	<p>第3章 まちづくりの基本方針</p> <p>2 重点的に推進すべき5つのまちづくり戦略</p> <p>◇魅力づくり戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域特性を生かした文化・スポーツの振興や豊富な資源を活用した観光の振興を図るとともに、」という記載があるが、これでは、地域特性であって、地域資源でないものまで含まれるような感じがある。 ・八戸市には、今まで既に成果がある事例等が沢山あるので、これをしっかりプロモートして、更に価値を向上させるブラッシュアップが妥当と考える。（具体的には、域外知名度は低い、旅行者の満足度が高い、三社大祭、三陸復興国立公園に編入された蕪島・種差海岸、おいしい魚介類の料理等） ・そこで、「地域における文化・スポーツ・自然等の豊富な地域資源を活用した観光の振興を図るとともに、」に変更してはいかがか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ここでは、地域特性を生かした文化・スポーツの振興と、豊富な資源を活用した観光の振興の2つのことを施策として位置づけたものであり、御提案の表現にすることは難しいと考える。

【問い合わせ先】

八戸市 総合政策部 政策推進課

Tel : 0178-43-9233